



キルケニー (アイルランド)

素材研究 (海外)

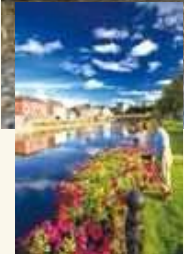
ノルマン様式の風情漂う アイルランドの歴史的な古都

アイルランド島の南東部の町キルケニーは日本旅行業協会(JATA)の「ヨーロッパの美しい村30選」のひとつ。アイルランド政府観光局が進める「アイルランド いにしえの東部」の主要な町のひとつとしても、注目されています。



町のシンボルとなっている
キルケニー城

www.ireland.com



ノア川のほとりの散歩道



石造りの建物が歴史を混えます



ノルマン風の町並み

ケルトばかりじゃない ノルマン文化漂う町

キルケニーは首都ダブリンの南、車で約2時間のところに位置します。400年前に都市の権利を得た町で、「美しい村」というには規模が大きく、都会的な雰囲気も漂います。夏は世界的に有名なアトネザインフェスティバルも開かれるためホテルも豊富。グループやMICE向け、ブティックホテルや郊外のラグジュアリーな5ツ星ホテルなど、ツアーに応じて選べます。

キルケニー最大の特徴は「ノルマン風の町」であること。アイルランドはケルト民族の国と言われますが、実際はノルマン人やヴァイキングなど様々な民族が往来し、融合するなど、多様性もあるのです。キルケニーは12世紀にノルマン人の侵攻を受け、キルケニー城はノルマン人の領主リチャード・ストロングボウ卿の居城。城壁で囲まれていた一帯は、「アイリッシュ・ノルマン」と言われるノルマン風の建物が連なり、それがほかのアイルランドの町と趣を異にしています。

現在のキルケニーはデザインの名町としても知られています。キルケニー・デザイン・センターには伝統的なデザインをベースとした陶器や木彫り、銀細工などのお土産が並び、2階にあるカフェともども地元の人にも人気。またこの町はギネスと並ぶ銘酒スミディックス・エールの本場ですので、ぜひ

パブもぞきたいところです。

アイルランド東部の 古代文化を巡る

アイルランド政府観光局はこのほど「アイルランド いにしえの東部」として、同国東部の史跡や歴史的な古都、古城などをクローズアップするプロモーションを開始しました。これは西部のゴールウェイやアラン諸島といった自然素材に対し、東部にもスポットを当てることが狙い。首都ダブリンの北には世界遺産に登録されている古代墳墓ニューグレンジや聖書物語が刻まれたモナスターボイスの十字架などの史跡があるほか、ダブリンからキルケニーへの途中には初期キリスト教会群で知られるグレンダローツホが、キルケニーの南にはヴァイキングの足跡の残る町ウオーターフォードがあるなど、「様々な歴史にふれることができます。キルケニーを周遊の拠点のひとつとしながら、ぜひ東部の素材も組み込んでいただきたい」とアイルランド大使館広報・文化担当のアッシュリン・ブレデー氏は話しています。



モナスターボイス。聖書の物語が刻まれた十字架



ニューグレンジは世界遺産にも登録されています



スミディックス・エールで乾杯! 軽いので飲み過ぎに注意